



移住者名	木村 武司
都道府県	鹿児島県 屋久島町
移住先	兵庫県⇒口永良部島
移住年	2018年 4月
職業	会社員⇒学校用務員
家族構成	単身
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

魚釣りが好きで、5年前から魚釣りをしに、屋久島に通っていました。前職のやり甲斐にも疑問を持っていたので、その頃から「ここに住みたい」という思いを持っていました。

2017年、島のおばちゃんに「釣りが好きなら」と勧められ、初めて口永良部島を訪れました。いろんなところで魚釣りをしましたが、口永良部島の海底は、足元から急にどーんと深くなるんです。何が釣れるかわからなくて、おもしろいと思いました。道を埋め尽くす勢いで生い茂る緑を見て、自然のパワーにも惹かれました。

人も魅力です。子どもたちは挨拶してくれるし、じいちゃんばあちゃんも滞在するうちに手を振ってくれるようになりました。あるお店で「お釣りが足りないな」と思った時があったんですが、言わないでいたら、なんと泊まっている宿に180円返ってきました。どこの誰とも言ってないのに！移住時に募集があり、今は用務員をしています。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

自分の年齢が37歳だったこと、独身男だということです。移住前に島のばあちゃんと話していて、「結婚して子どもがおったらいいのにね」と言われたこともありました。受け入れてもらえるか、怯えながら来ました。でも港に降りて「引っ越してきました。釣りしにきました。独身です。」と伝えたら、みんなが「よう来てくれたね」と言ってくれました。不安は吹き飛びました。いまやこの島では大学生の次に若手です。11月には屋久島の街コンに参加します。島内だと相手を見つけるのは難しいけど、絶賛活動中です。

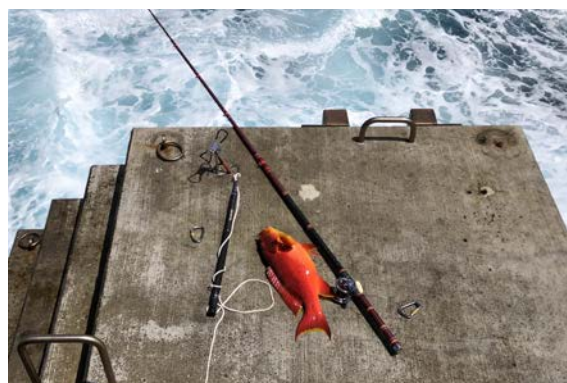
火山や交通の不便について聞かれますが、何も気になりませんでしたね。「船は欠航するもの」と思っているし、食べ物がなかったら誰かの家に集まればいい。火山についても、噴火した時の動き方・逃げる場所が明確になっていて、防災意識はとても高いです。2015年の噴火の時も死傷者がゼロだったというニュースを見て、安心しています。

Q. 移住して良かったことは？

島の人みんな海が好きで、釣りが好き。同世代の人が多くて、共通の話題があるので話も通じやすく、すぐ友達ができました。休みの日はみんなでBBQしたり、釣りしたり。仕事終わりに集まって、護岸で飲んだりもしています。

釣りをするにもうってつけです。16時30分に終業して、17時のチャイムが鳴る頃には最高の釣り場にいるんです。家から釣りスポットまで15分くらいだと思います。

また、これまでは子どもと関わるのが少なかったけれど、用務員になり島の子どもと接する機会が増えました。今では「子どもがほしいな」「子育てをしたいな」と思うようになりました。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

島では飲ん方（のんかた。飲み会）が多くて、お誘いが毎晩のようにあることもあります。お酒が飲める人、もしくは飲めなくても楽しめる人がいいと思います。

人口百余人の小さな島なので、人と人との間に濃い繋がりがありません。助け合いや支え合いの文化が残っていて、古い家族のかたちがあります。島のペースや島の文化も尊重しつつ、自分のやりたいことも大事にできる人ならきっと楽しめると思います。

島には飲食店やサービスを提供するお店がありません。なのでお店を始めたい方にとってはビジネスチャンスかもしれませんよ！